

支援情報等のお知らせ

- 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
  - 1 広域通信制高校の県内在住入学者、前年度実績超え続く
  - 2 「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」参加者募集
  - 3 子どもの長期欠席で悩む保護者のための「相談・学びの場」
  - 4 「若者のためのライフデザイン事例集」公開
- 自立支援に関するイベント等の情報
  - 5 「第38回日本思春期青年期精神医学会」ぐんま大会市民公開講座
  - 6 群馬県総合教育センター  
「学校を長期欠席している児童生徒の学びを考える会」開催
  - 7 ひきこもり家族教室『関わり方の工夫～こんなときどうする～』
  - 8 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ57」
- 民間活動団体等の紹介
  - 9 前橋市 NPO法人Next Generation

1 調査報告：広域通信制高校の県内在住入学者、前年度実績超え続く

多様な学び方の進学先として広域通信制高校（入学できる都道府県数が3カ所以上）への関心が高まっている中、本県では、令和7年度（実績）は1,453人で過去最高、連続して前年度を上回りました。

近年、多様な学び方ができる広域通信制高校への関心が高まっていて、中学校卒業後の進学先として新入生が毎年増えています。また、高校進学後に転学を希望する生徒の受け皿として実績数が前年度を上回っています

こうした生徒の動向を把握するため、県子ども・若者支援協議会では、広域通信制高校（実施校）のうち、県内に実施校の分校（○○キャンパスや○○学習センター等）、実施校に在籍する生徒を学習面や生活面で支援するために実施校・設置者が提携を認めるサポート施設（通称「サポート校」）の協力を得て入学者数を調査しています。

【調査結果】

令和7年度実績

全入学者数 1,453人  
（新入学845人、転入学533人、編入学75人）

令和8年度（5月末現在）

全入学者数 1,102人  
（新入学849人、転入学215人、編入学38人）

上記の調査結果は県HPでご覧いただけます。  
<https://www.pref.gunma.jp/page/3661.html>

2 7/16「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」参加者募集

県子ども・若者支援協議会では「若者は何故、社会で生きにくさを感じるのか、働くことへの不安とは何か」をテーマに、下記のとおり研修会を開催します。

人は何故、学校や社会で生きにくさを感じるのだろうか、それはどんな時なのだろうか。自分の得意なことを活かして物事にチャレンジしたり、苦手なことを知って上手く切り抜ける経験をしたり、抱えた心配や不安を周りの人に言葉で伝えることができれば、学校や社会で

円滑な生活を送ることが出来るのではないだろうか。

研修会では、どのような視点で支援に携わればいいのか、支援のつながりをどのように行えばいいのかについて考えていきます。

■日時 令和8年7月16日(木) 13:00~16:40 ※開場12:00

■会場 ぐんま未来大学ホールPAL(笠懸野文化ホール)

みどり市笠懸町阿佐見1579番地1

■テーマ「若者は何故、社会で生きにくさを感じるのか、働くことへの不安とは何か」  
～ 当事者の円滑な社会生活に向けた学校から社会への支援のつながりを考える ～

■内容

第1部 問題提起

①若者が感じている「社会での生きにくさ、働くことへの心配や不安」

ア) アンケート結果から見える若者

臨床発達心理士/公認心理師 中澤 由梨氏

NPO法人リンケージ、ぐんま若者サポートステーション、

群馬県教育委員会委員

イ) 産業医から見たグレーゾーンの若者

医学博士 岡田 恭典氏

産業医 多機能事業所SUN-Works就労定着支援員

②就労支援の現場から捉えた当事者の心配や不安、必要な支援

ア) 若者サポートステーションに訪れる若者

ぐんま若者サポートステーション 唐澤 文彦氏

イ) 就労移行支援事業の現場

一般社団法人 ワークスタジオ群馬 理事 笠井 勇哉氏

ウ) 不安を抱える若者が働き続ける職場

株式会社ヒルズ伊勢崎 代表取締役 石原 秀樹氏

(群馬県中小企業家同友会 障害者雇用委員長)

第2部 意見交換「学校から社会へ向けた支援のつながりを考える」

学校生活で生きにくさ、学校への行きづらさを感じた経験を持つ

子ども・若者にとって、学校を離れて社会で自分らしい生き方や働き方を実現するまでに、多くの心配や不安を抱えていることが多い

状況です。

そうした当事者を支援するために何が必要かについて意見交換を行います。

コーディネーター：前橋国際大学地域社会学部教授 上原 篤彦氏

パネリスト

NPO法人リンケージ 中澤 由梨氏

産業医 岡田 恭典氏

ぐんま若者サポートステーション 唐澤 文彦氏

ワークスタジオ群馬 笠井 勇哉氏

株式会社ヒルズ伊勢崎 石原 秀樹氏

助言者：みどりクリニック院長 鈴木 基司氏

■申込み 定員300人(先着順)

フォームのURL(インターネット)

<https://logoform.jp/form/9cfD/1561633>

■問合せ先

群馬県子ども・若者支援協議会(県私学・青少年課青少年育成係)

電話 027-898-3557

e-mail [kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)

3

子どもの長期欠席で悩む保護者のための「相談・学びの場」

様々な理由で欠席が続いているお子さんのことで悩んでいませんか！  
ひとりで抱えずに一緒に考え・学び・つながりませんか！

群馬県総合相談センターでは、専門スタッフ（公認心理師・社会福祉士・精神保健福祉士等）による保護者のための「相談・学びの場」を開設しています。

子どもの長期欠席で「子どもへの接し方が分からない」「もやもやした気持ちを抱えるのがつらい」などと悩んでいる保護者の皆さんに情報の提供をお願いします。

#### 【学び場つなぐん】

お子さんへの理解を深め、関わり方について、心の専門家と一緒に考えます。4回シリーズで毎回「学びタイム」と「交流タイム」があります。1回のみでの参加でも大丈夫です。

##### ■学びタイム

欠席が続いている子どもの気持ちや親の関わり方について、テキストを用いて学びます。

##### ■交流タイム

同じ悩みをもつ保護者同士で安心して話ができます。

（話したくないことは話さなくて大丈夫！）

##### ■会場：群馬県総合教育センター

（伊勢崎市今泉町1-233-2）

##### ■実施日時：毎月第2木曜日午後（注：8月のみ第1木曜日に実施）

#### 【出張カフェつなぐん】

遠方の方に向けて「学び場つなぐん」が県内の地域に出張します！「学び場つなぐん」の内容をぎゅーっと凝縮して1回完結型でお届けします。

##### ■開催地・時間（全共通：13:30～15:30）

みどり市笠懸公民館 6/25（木）10/22（木）

館林市教育支援センター 8/27（木）、12/24（木）

甘楽教育会館（富岡市教育支援センター前）7/23（木）、11/26（木）  
（近隣の方もご参加いただけます）

#### 【個別相談】

心の専門家に個別に相談ができます。

相談方法は、電話・来所・ZOOMなどの選択が可能です。

##### ■相談日 毎週木曜日

この他、お子さんの発達について心の専門家や同じ悩みをもつ保護者の方と話し合える【あったかスマイル相談会】もあります。

詳細はこちらをご覧ください。みどり

注）保護者のための「相談・学びの場」の詳細はこちらをご覧ください  
<https://sites.google.com/edu-g.gsn.ed.jp/tsunagun/>

#### 【問合せ連絡先】

群馬県総合教育センター 子ども教育相談係  
つなぐん相談ダイヤル：TEL：0270-26-9200

4

#### 若者のためのライフデザイン応援プロジェクト

短大・大学生が取材・編集「若者のためのライフデザイン事例集」

群馬県では高校・大学生などの若い人に向けて、これからの人生設計に役立つ事例集「LIFE-100 Real Report」を作成しました。

この冊子は、県内に在学・在住する短大生・大学生等で構成されたプロジェクトメンバーによって制作されました。

学生たちは編集会議やライフデザイン講座、インタビュー体験を重ねながら、若者ならではの視点や意見を取り入れつつ、取材対象の選定や質問内容の検討を行い、自らの手で冊子を形にしました。

この活動は、学生メンバーにとってもライフデザインを深く考える大きなきっかけとなりました。群馬にゆかりのある社会人100人を取材、さまざまな生き方を2冊のデジタルブックにまとめて公開しています。

会社員、医師、農家、アーティストなど、多様な職業・価値観を持つ人々が、どのように人生を選び、これからをどう描こうとしているのか。

そのリアルな声が詰まっています。

変化の多い時代、自分らしい生き方を模索する若者にとって、具体的なヒントや勇気を与えるコンテンツです。ぜひご活用ください。

掲載内容>インタビュー記事、マイヒストリー、マイスケジュール、  
若者へのメッセージ など

■URL <https://smilelife.pref.gunma.jp/lifedesign/real-report/>

【問合せ連絡先】

群馬県生活こども部 生活こども課 こども未来戦略係  
TEL : 027-226-2392

5 7/26「第38回日本思春期青年期精神医学会」ぐんま大会市民公開講座

日本思春期青年期精神医学会の第38回ぐんま大会事務局（群馬病院内）では、『子どもの育ちをとらえなおす ―生活と治療のあいだ―』を大会テーマに高崎市で開催する医学会に、非会員の参加も呼びかけています。

子どもたちが生活する場は、家庭を中心に学校・福祉・医療など多様な関わりの中で成り立っています。とくに、対人コミュニケーションの困難さや家庭内葛藤、不安焦燥の高まりなどを抱える子どもたちにとって、「生活」と「治療」をどのようにつないでいくかは重要な課題です。

本大会では、子どもたちの主体性・能動性をどのように支え、見守るのかについて「生活」と「治療」のあいだを改めて見つめなおし、皆さまとともに考える場にしたいと考えております。

教育講演には國分功一郎氏（東京大学大学院）をお迎えし、「暇と退屈」「意志と責任」「行為のコミュニズム」といった観点から、子どもの主体性や成長についてご講演いただきます。

また、MBT-A、AMBITなど近年の治療実践をもとに、生活と治療をつなぐ実践についても取り上げる予定です。

■日本思春期青年期精神医学会第38回大会

会期：2026年7月25日（土）・26日（日）

会場：高崎総合保健センター（高崎市高松町5-28）

大会長：河合健彦（群馬病院）

ホームページ：<https://sites.google.com/view/jsap38th/home>

■市民公開講座

ぐんま大会では、一般の方が無料で参加できる「市民公開講座」を用意しています。関心のある方の参加をお待ちしています。

日時：7月26日（日）15：00～16：30

会場：高崎市総合保健センター

テーマ：「子どもの生活と児童精神科診療」

演者：成田 秀幸氏（ジニアそだちのクリニック）

司会①：高木 博敬氏（西毛病院）

司会②：溝口 健介氏（ケンクリニック）

【申し込み方法】

事前に大会事務局までメールでご連絡ください。

市民公開講座のみの参加は申込不要です。直接会場にお越しください

事務局：群馬県高崎市稲荷台町136番地群馬病院内

E-mail：[jsap38th@gmail.com](mailto:jsap38th@gmail.com)<<mailto:jsap38th@gmail.com>>

担当：松井朋美

6 7/30「学校を長期欠席している児童生徒の学びを考える会」開催

群馬県総合教育センターでは、保護者や教育関係者、支援者等を対象に学校を長期間休んでいる児童生徒の学校内外での学びについて考えるため、支援者や経験者による基調講演、参加者同士で意見交換を行う分

科会を開催します。  
なお、基調講演はアーカイブ配信も行います。

【内容】

日時 令和8年7月30日(木) 13:30~16:30

会場 群馬県総合教育センター  
(伊勢崎市今泉町1丁目233-2)

第1部 基調講演

①「共に支える、学校・団体・保護者の未来」  
鈴木 裕美氏 NPO法人親の育ちサポートかがわ 理事長/医師

②「あの頃、私が欲しかった支援」  
村山 大樹氏 帝京平成大学 講師  
外所 もみじ氏 2024年度 群馬県高校生リバースメンター

注) アーカイブ配信希望はこちらから  
<https://forms.gle/VcXL6UWkWxxwc5nH7>  
7月10日(金)まで受付

第2部 分科会

分科会1「保護者の皆様」

公認心理師が分科会を進める中で、欠席が続く子どもとの関わりについて、保護者の皆様同士でお話ししてみませんか。

※本名ではなくニックネームでの申込・参加が可能です

※分科会2の会場と別会場で行います

分科会2「教育関係者の皆様 他」

子どもたちの「学び」を充実させるために、私たちができることは何でしょうか。これからのUniPath(不登校)支援について考えませんか。

※学校関係者(管理職、教諭、養護、SC、指導主事等)、

教育支援センターの皆様、フリースクール等の皆様は分科会2

へお申し込みください

(保護者の方もご参加いただけます)

申込方法 参加費無料 7月10日(金)締切  
事前申込先はこちらから  
<https://forms.gle/1szqGdwWzexHGvkW8>

【問合せ連絡先】

群馬県総合教育センター 子ども教育相談係  
電話 0270-26-9217

詳細は総合教育センターHPをご覧ください。  
<https://center.gsn.ed.jp>

7 6/23 ひきこもり家族教室『関わり方の工夫～こんなときどうする～』

ひきこもり支援センター(県こころの健康センター内)では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学ぶことで、ご家族自身の気持ちにゆとりが生まれ、本人との関係性が変化していきます。

【参加者の声】

「皆さんのお話から元気をいただいた」

「工夫できるところが見つかった」

「気持ちに余裕が持てるようになった」

「選択肢が広がった」 etc...

■教室の内容はCRAFT(認知行動療法)を参考にしています。  
「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

■初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、

下記連絡先までご連絡ください。

- 家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。  
こちらからダウンロードしてください。  
<https://www.pref.gunma.jp/page/632294.html>

#### 【6月の家族教室】

教室：6月23日（火） 第4火曜日 13:30～16:00  
内容：『関わり方の工夫 ～こんなときどうする?～』  
前半：家族教室 13:30～15:00（受付13:00）  
後半：家族の居場所 15:00～16:00（受付14:30）  
◆ご家族同士で感想等をお話しする時間です。  
◆前半「家族教室」に参加したことのある方は、  
後半「家族の居場所」のみの参加も可能です。  
会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）  
連絡先：ひきこもり支援センター  
専用ダイヤル 027-287-1121  
月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始は除く）  
※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

- 支援者の方の参加もお待ちしております。  
※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

### 8 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ57」 美容医療、即断即決要注意！

美容医療の施術は、多くの場合、緊急性がありません。  
カウンセリングを受けるだけのつもりであったり、広告に記載された  
安価なコースを契約するつもりであったとしても、「広告は軽度の場合  
の価格。あなたは重度だ」などと不安をあおられて高額な施術を勧めら  
れたり、「今日契約・手術すれば割引」と契約を急かされて即日施術を  
勧められるケースがあります。

#### ●トラブル防止のアドバイス

- ・不安をあおられたり、大幅な割引を提案されても、即日契約・施術  
をしないようにしましょう！  
その場で判断せず、いったん帰宅して周囲に相談するなど、慎重に  
検討してください。
- ・施術前にリスクや副作用の確認をしましょう！  
施術の効果やメリットだけではなく、リスク・副作用等については、  
カウンセラー等からではなく医師から十分に説明を受け、しっかりと  
納得したうえで施術を受けるかどうか判断してください。  
また、カウンセリングを受ける前に、希望する施術について自身で  
もインターネット等で情報収集し、リスク・副作用等を事前に確認  
しておきましょう。

#### ★こまったら、まず相談！！

消費者ホットライン「188（いやや）」  
※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通3桁の電話番号です

#### 《お問い合わせ》

群馬県消費生活センター 027-223-3001  
<https://www.pref.gunma.jp/page/8392.html>

### 9 民間活動団体等 前橋市 NPO法人Next Generation

Next Generation（ネクストジェネレーション）は、小学生から大学生  
までの子ども・若者に、多様な学習や体験・実践の機会を届ける活動  
をおこなっています。

人は物事を選ぶとき、自分の中にある知識や経験からしか選ぶことが  
できません。だからこそ、子どもたちがさまざまな人との出会いや、多

様な学び・体験を通して視野を広げ、自分らしい将来や可能性を見つけられる環境をつくりたいと考えています。

しかし、家庭の経済的な事情などによって、通塾することが難しかったり、必要な学習教材を十分に整えられなかったりする子どもたちがいます。また「家族と出かける」「自然に触れる」といった、誰かにとっては当たり前の体験をすることが難しい場合もあります。

そこでNext Generationでは、そうした子どもたちを対象に、学習・体験・居場所の支援活動をおこなっています。

- ・通塾が難しい家庭の子どもを対象とした週1回・90分の個別学習支援活動
- ・ものづくりや社会見学などを通じて、体験の機会を提供し、小さな成功体験につなげる体験型支援活動
- ・子どもたちが安心して過ごせる空間を提供する居場所支援活動
- ・不登校の子どもを対象とした学習・体験・居場所を組み合わせる行う不登校支援活動

活動の詳細はHPをご覧ください。

<https://n-generation.or.jp>



次号は、2026年7月中旬を予定しています。  
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。  
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『[kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会 .....

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部  
私学・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-898-3557
- ▼ e-mail [kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)
- ▼ HP [https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp\\_headline\\_3](https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3)  
県HP「子ども・若者への支援」